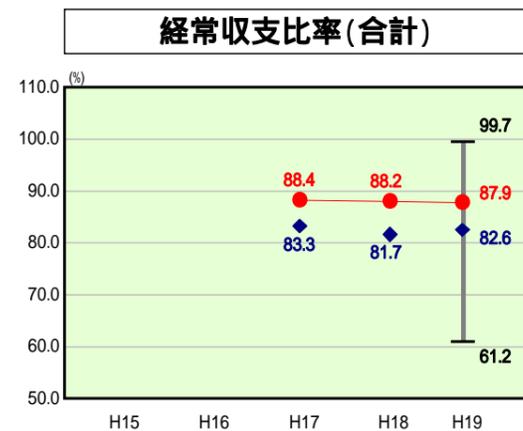


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 会津美里町

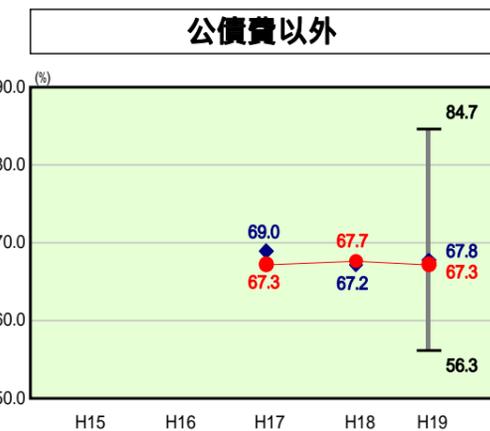
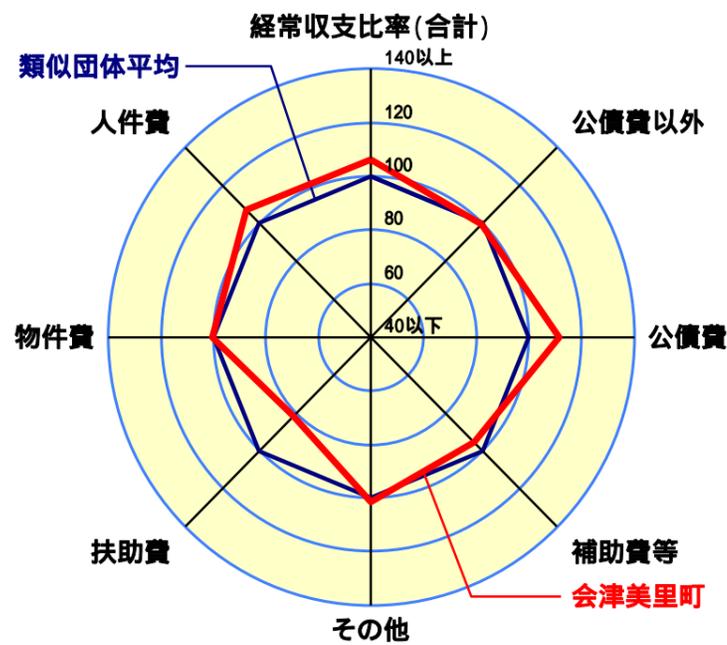
経常収支比率の分析



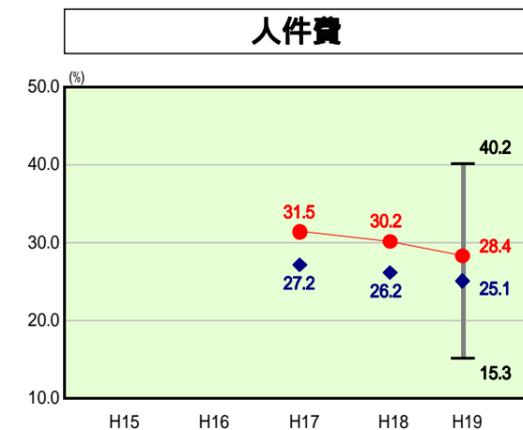
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▸
類似団体内最小値 ▾

人口	24,568人(H20.3.31現在)
面積	276.37 km ²
歳入総額	10,610,245千円
歳出総額	10,389,399千円
実質収支	190,656千円

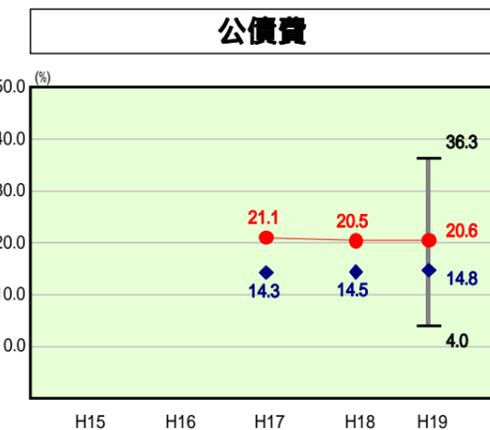
H19類似団体内順位 24/44
全国市町村平均 92.0
福島県市町村平均 89.0



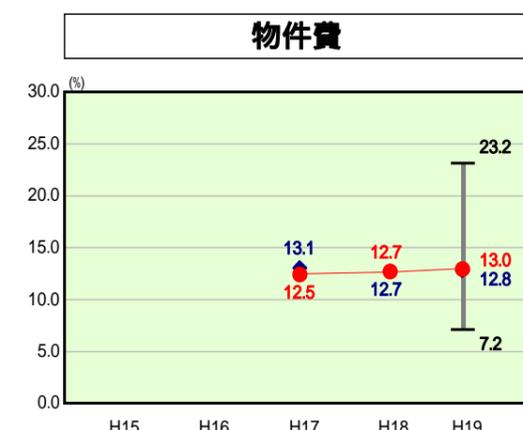
H19類似団体内順位 16/44
全国市町村平均 71.7
福島県市町村平均 69.1



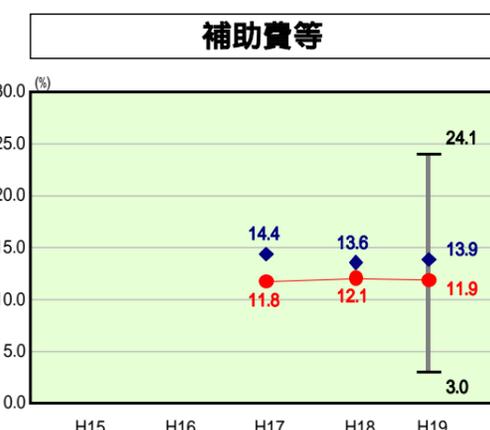
H19類似団体内順位 34/44
全国市町村平均 28.0
福島県市町村平均 26.7



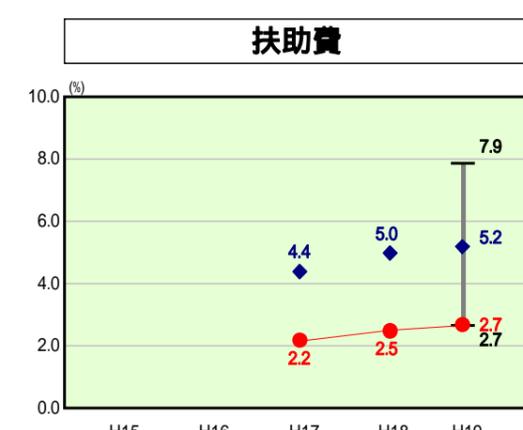
H19類似団体内順位 31/44
全国市町村平均 20.3
福島県市町村平均 19.9



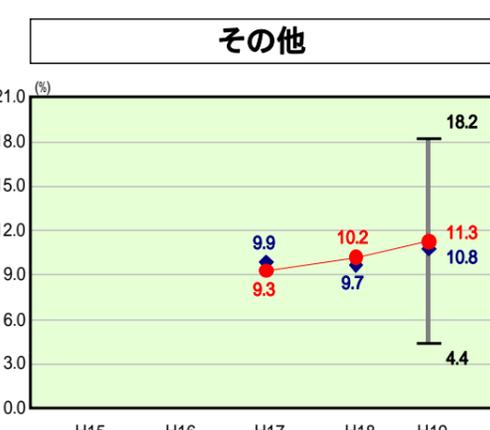
H19類似団体内順位 29/44
全国市町村平均 13.1
福島県市町村平均 13.0



H19類似団体内順位 13/44
全国市町村平均 10.4
福島県市町村平均 10.0



H19類似団体内順位 1/44
全国市町村平均 8.8
福島県市町村平均 6.2



H19類似団体内順位 23/44
全国市町村平均 11.4
福島県市町村平均 13.2

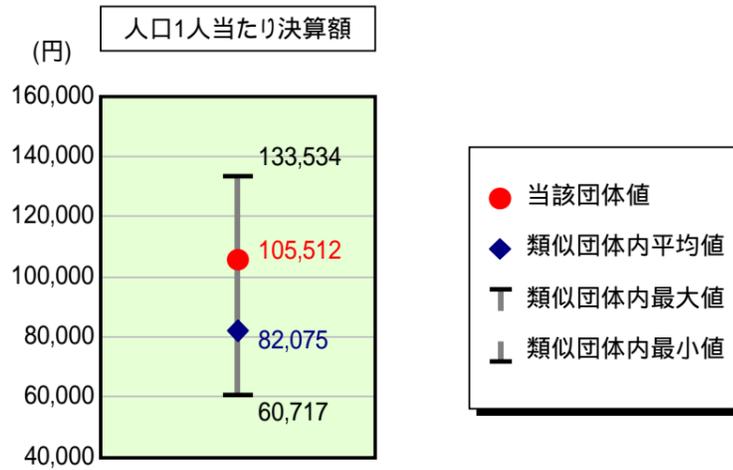
- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

「経常収支比率の分析」
人件費：町村合併により職員数が類似団体と比較し多くなっていることから、人件費に係る経常収支比率が類似団体平均を3.3%上回っている。集中改革プラン及び定員適正化計画に基づく新規採用抑制により、平成22年4月までに52人程度の減員を図るなど、行財政改革への取り組みを通じて人件費の削減に努める。
物件費：町村合併により温泉施設等の同様の公共施設を複数抱えていることから管理経費が重荷になっている。物件費に係る経常収支比率は類似団体を若干下回っているが、学校施設をはじめとする公共施設の統廃合により、更なるコストの削減を図る。
扶助費：扶助費に係る経常収支比率は類似団体の中で最も低い比率となっているが、平成20年度より医療費無料化を中学生まで引き上げることから上昇する。町独自のサービスについては、町が担うべきサービスの範囲や水準が適正なものであるかを検証しながら、適正に行っていく。
公債費：近年大型事業が集中したことから、地方債の元利償還金が膨らんでおり、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を5.8%上回っている。高金利の地方債の借換により元利償還金の抑制を図るとともに、今後控えている大規模な事業計画を整理・縮小し新規発行債を基準財政規模の10%以内に抑制することにより、地方債償還金の軽減を図る。
補助費等：「会津美里町補助金制度に関する指針」(平成18年11月制定)により、補助金の見直しを行うとともに、水道事業会計に対する高料金対策補助金においては、料金見直しの検討を含めた経営の合理化、健全化に努める。
「人件費及び人件費に準ずる費用の分析」
町村合併により職員数が類似団体と比較し多くなっていることから、人件費の人口1人当りの決算額が類似団体平均を大きく上回っている。集中改革プラン及び定員適正化計画に基づく新規採用抑制により平成22年4月までに52人程度の減員を図るなど、行財政改革への取り組みを通じて人件費の削減に努める。
「公債費及び公債費に準ずる経費の分析」
人口1人当り決算額が類似団体平均を6.8%上回っているが、これは国営会津宮川事業に係る債務負担行為に加え、近年の大型事業の実施により元利償還金が膨らんでいるためである。今後控えている大規模な事業計画を整理・縮小し新規発行債を抑制することにより、地方債償還金の軽減を図る。
「普通建設事業費の分析」
平成17年度の決算額が類似団体平均の4倍程度になっているのは、国営会津宮川2期土地改良事業に対する約30億円の負担をしたためである。また、平成18年度については、統合小学校建設、学校給食センター統合等の町村合併に伴う大型事業の実施により類似団体平均の2倍程度になっている。平成19年度においても、継続して実施しているまちづくり交付金事業、臨時地方道整備事業や新規事業である情報連絡施設整備事業等により類似団体平均を上回っている状況であり、今後も学校施設整備をはじめとする大型事業が控えているが、事業計画を整理・縮小し普通建設事業費を抑制していく必要がある。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

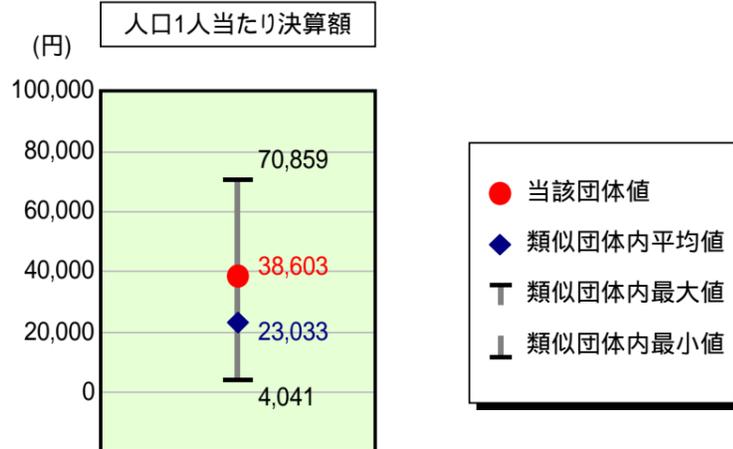
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	2,190,415	89,157	69,256	28.7
賃金(物件費)	15,100	615	4,641	86.7
一部事務組合負担金(補助費等)	407,633	16,592	9,632	72.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	695	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	105,326	4,287	2,849	50.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	85,855	3,495	1,316	165.6
退職金	212,098	8,633	6,313	36.7
合計	2,592,231	105,512	82,075	28.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.97	8.20	1.77
ラスパイレス指数	93.2	93.8	0.6

ラスパイレス指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

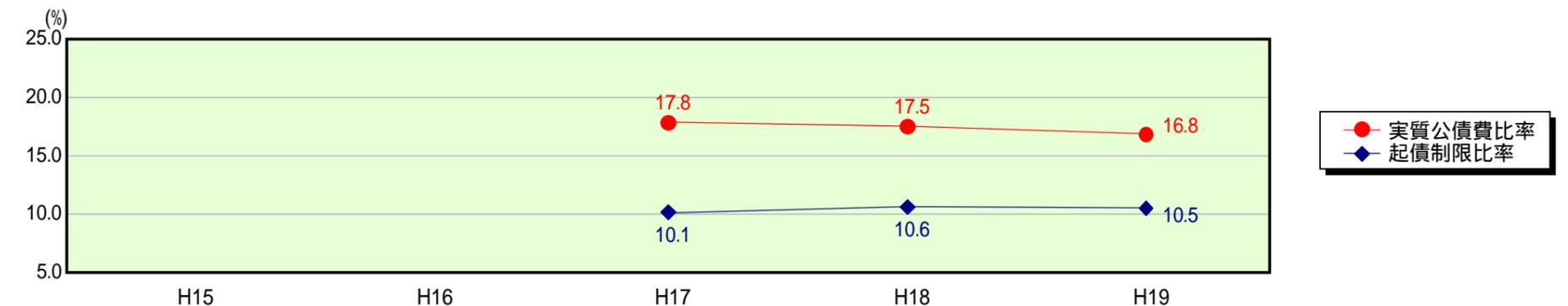


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,490,504	60,669	32,478	86.8
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	337,300	13,729	12,803	7.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	80,208	3,265	4,387	25.6
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	126,486	5,148	1,648	212.4
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	939	38	2	1,800.0
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1,087,029	44,246	28,286	56.4
合計	948,408	38,603	23,033	67.6

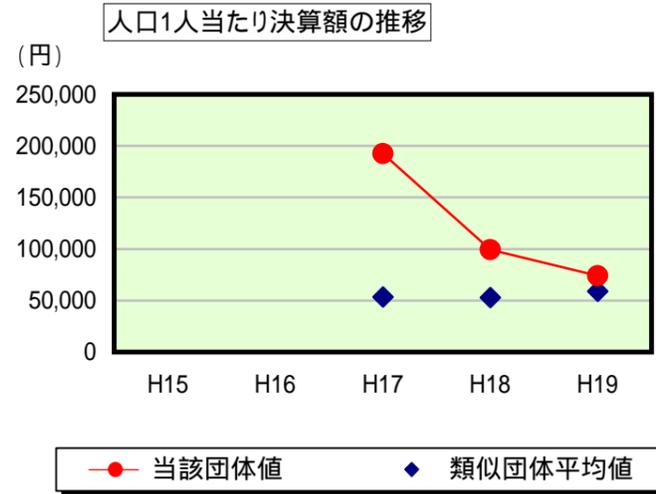
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	4,871,531	192,368	-	53,398	-	-
うち単独分	910,287	35,946	-	34,793	-	-
H18	2,479,372	99,278	48.4	52,962	0.8	47.6
うち単独分	993,442	39,779	10.7	35,565	2.2	8.5
H19	1,820,996	74,121	25.3	59,010	11.4	36.7
うち単独分	841,215	34,240	13.9	37,144	4.4	18.3
過去5年間平均	3,057,300	121,922	36.9	55,123	5.3	42.2
うち単独分	914,981	36,655	1.6	35,834	3.3	4.9